



第9回常任理事会

日時 平成26年7月8日(火) 18:00~19:18
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・櫻井各常任理事、水元・中村・大口各監事(事務局:安達事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 日本医師会医療情報システム協議会運営委員会委員の委嘱に関する件(三戸常任理事)

藤原副会長を推薦することと決定。

第2号 北海道有床診療所協議会顧問の就任に関する件(三戸常任理事)

長瀬会長の就任について承認決定。

第3号 学校における食物アレルギーに対応する連絡協議会委員ならびに北海道学校保健審議会食物アレルギー分科会アドバイザーの就任依頼に関する件(三戸常任理事)

連絡協議会委員ならびに学校保健審議会アドバイザーとともに三戸常任理事を推薦することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座26件、道医認定生涯教育講座27件の計53件を承認することと決定。

報告事項

1. 第1回産業保健活動推進委員会[6月16日(月)]について(生駒常任理事)

平成26年度産業保健研修会(5回)の講師につき決定した。また、北海道の補助事業である「うつ病医療体制強化事業」(うつ病・自殺予防研修会、メンタルヘルスセミナー)について、所管である当会地域保健部と実施に向けた調整を行った。

2. 日医第132回定例・第133回臨時両代議員会[6月28日(土)・29日(日)]について(深澤副会長)

初日は第132回定例代議員会として、決算の承認ならびに次期役員等の選挙が施行された。

代議員会議長・副議長、会長・常任理事・理事・

監事・裁定委員については定数どおりの候補者のため、投票を行わず、横倉義武会長候補者他の各候補者をそれぞれ当選とすることが承認された。なお、北海道からは、理事に長瀬清氏(当会会長)、監事に松家治道氏(当会理事、札幌会長)、裁定委員に城守氏(小樽医顧問)がそれぞれ当選した。また、副会長については定数3名のところ4名の候補者がおり、投票が実施され、中川俊男氏(北海道、当会参与)が再選されたほか、今村聡氏(東京都)、松原謙二氏(大阪府)がそれぞれ再選された。

2日目は、第133回臨時代議員会として、横倉会長の所信表明と日本医学会の高久史磨会長の挨拶の後、平成27年会費賦課徴収の件につき提案どおり承認され、引き続き代表質問8件・個人質問13件の質疑が行われた。なお北海道からは、代表質問として小熊豊代議員より『消費税10%に向けた日医の対応について』、個人質問として鈴木伸和代議員より『医療事故調査制度について』、藤原秀俊代議員より『生活保護法の一部改正について』の質問を行った。

3. 北海道小児救急医療地域研修事業協議会[7月2日(水)]について(目黒常任理事)

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で本年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域の開催ならびに研修内容を決定した。なお、昨年度と同様に札幌会場のみ他会場に比べ1名増の講師3名により時間を延長して実施することとした。

4. 北海道看護協会との懇談会[7月3日(木)]について(藤井常任理事)

本年度は看護協会の担当で開催した。「ワーク・ライフ・バランスの推進」をテーマに、看護協会から日看協での取り組みの紹介など話題提供があった。その後、定年退職後の勤務希望者が少ないのは、厳しい勤務環境の改善が重要であり、また一方、退職した看護職員が施設で働かなくても、地域の中で専門性を生かし、生涯働き続けられる環境整備が必要であるなど意見交換を行った。

5. 第64回日本病院学会[7月3日(木)~4日(金)・高松市]について(伊藤常任理事)

「今、医療人・病院に求められているものー明日への飛翔ー」をメインテーマに約2,000名が参加し、香川県高松市において開催された。四国こどもとおとなの医療センター・中川義信院長による学会長講演「今、医療人・病院に求められているもの」、日本病院会・堺常雄会長による講演「いま、病院に求められているもの」、国際医療福祉大学・矢崎義雄総長による記念講演「超高齢社会を乗り越える医学・医療ーピンチをチャンスにー」のほか、特別講演1題、学会特別講座1題、シンポジウム9、オピニオン1、ワークショップ5、一般演題455の発表があり盛会であった。次回は、平成27年6月18日(木)~19日(金)、長野県松本市で「日本における医療改革のあべき姿ー地域で治し・支える新しい医療ー」をテー

マに開催される予定である。

6. 日医理事会報告（長瀬会長）

第132回定例代議員会終了後に開催され、新執行部の職務分担等を決定した。

7. 外部各委員会報告

(1) 北海道総合在宅ケア事業団平成26年度通常総会ならびに第2回理事会[6月25日(水)]について（藤原副会長）

通常総会においては、平成25年度の事業報告、公益目的支出計画実施報告書、平成26年度事業計画および収支予算についての報告後、平成25年度決算ならびに役員を選任について審議した。引き続き開催した第2回理事会では、当会の長瀬会長が理事長に選定されたほか、副理事長および常務理事を選定した。

(2) 第1回妊婦健診未受診者および望まない妊娠等対策検討会[7月7日(月)]について

（藤井常任理事）

北海道より妊婦健診未受診者および望まない妊娠についての課題、対策等の説明があった後、道内の未受診妊婦の概要について報告し、実態調査の実施内容について協議した。

8. 各部報告

(1) 日本脳炎ワクチンの署名活動について

（三戸常任理事）

北海道小児科医会との連名により、日本脳炎ワクチンの定期接種化を実現するための署名活動を7月1日から開始した。また、本活動については、会員にも北海道医報7月1日号の附録として折り込み、署名の協力を呼び掛けている。

9. その他

(1) 第48回北海道ドクターズゴルフ協議会役員会[7月6日(日)・苫小牧市]について

（伊藤常任理事）

本年度の大会は、苫小牧市医師会の担当により千歳空港カントリークラブにて開催、参加者は143名であった。役員会では、役員の一部変更、昨年決算報告・監査報告が承認され、続いて、第49回大会（平成27年度）は、釧路市医師会の担当で7月5日（日）釧路カントリークラブ東コースで、第50回記念大会（平成28年度）は、札幌市医師会の担当で札幌国際カントリークラブ島松コースでそれぞれ開催することが承認された。

また、今年の1月から運用が開始されている、ハンディキャップインデックスと旧ハンディキャップの取り扱いについては、来年度開催地の釧路市医師会と北海道医師会で運用方法を協議し決定することとした。

第10回常任理事会

日時 平成26年7月22日（火）18：30～20：26
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・櫻井各常任理事、水元・中村・大口各監事（事務局：安達事務局長ほか11名）

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

（三戸常任理事）

新規2名の申請者を指定医師とすることと決定。

第2号 社会保険診療報酬支払基金審査委員会委員の補充推薦に関する件（笹本常任理事）

診療担当者代表1名（内科）の辞任に伴い欠員となっていた後任委員に、札幌市医師会から推薦のあった1名を推薦することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座57件、道医認定生涯教育講座43件、合計100件を承認することと決定。

第4号 その他

(1) 日本医師会 会内委員会委員の推薦に関する件（長瀬会長）

日医から当ブロックに対して17の委員会委員の推薦依頼があり、当会副会長3名ならびに常任理事14名の計17名を推薦することと決定。

(2) 8月行事予定表に関する件（事務局）

報告事項

1. 民主党北海道総支部連合会「2015年度政府予算編成に向けた政策懇談会」[7月9日(水)]について（笹本常任理事）

長瀬会長他6名の役員が出席し、国民皆保険制度の堅持、地域医療の確保、社会保険診療報酬に対する事業税非課税措置の存続など医療政策に関する19項目について、民主党北海道総支部連合会の徳永代表代行（参議院議員）をはじめ小川参議院議員、逢坂前衆議院議員ほか道議会議員に対して要望し、意見交換を行った。

2. 第3回北海道医療安全研究会講演会[7月12日(土)]について（水谷常任理事）

一般演題2題が発表された後、「医療機器に関わる医療現場でのフラストレーション～競争の中の協力」をテーマに、北海道大学病院・寶金清博病院長、名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部・安田あゆ子副部長、日本医療機器産業連合会PMS委員会・三田哲也委員長の3名によるシンポジウムが行われた。引き続き、電気通信大学経営情報システム学講座・田中健次教授が、「安全対策の落とし穴～思い込みに潜む罠～」について特別講演を行った。

参加者は200名であった。

3. 地域医療に関わる地域別意見交換会[7月16日(水)・小樽市]について(伊藤常任理事)

地域医療の確保に苦慮している各地の状況を把握するため、長瀬会長他4名の役員(当会医療政策等検討委員会委員を含む)と小樽市医師会の役員等との間で意見交換を行った。出席者数は28名、北海道関係者も傍聴した。

4. 高等学校進路指導教員等説明会[7月17日(木)]について(藤井常任理事)

道北地区の高等学校より3校4名が出席した。小職から北海道の保健・医療・福祉の現状と北海道の奨学金制度について、上川北部医師会附属准看護学校・富田教務主任から学校の説明を行った。また「看護師の仕事について」と題して、仕事の内容と待遇や、就職活動での資格の強みを現役看護師から話をした。出席した教員から看護師と准看護師の違いについてなど多岐にわたる質問があり、最後に准看護学院から、次年度以降は高等学校に訪問をさせていただきたいとお願いし閉会した。

5. 女性医師等支援相談窓口コーディネーター連絡会[7月19日(土)]について(藤井常任理事)

相談窓口事業の25年度の実績報告ならびに26年度実施計画、臨床研修指定病院訪問とPR活動について協議した。

6. 女性医師等支援相談窓口利用者とコーディネーターとの懇談会[7月19日(土)]について(藤井常任理事)

相談窓口を利用した医師に集まっていたいただき、利用者相互の交流、情報交換、要望をとりまとめ今後の支援方法に反映させるため開催した。利用者、復職にあたって重視した点や、子育て支援に望むことなどを聞き、製薬メーカー等が主催する研究会等での託児サービスを直談判して併設してもらった体験談が述べられた。今年度も、引き続き当会より託児所の併設についてメーカーに要望することとした。参加者は、利用者7名、併設した託児室での子ども預かりは8名であった。

7. 第27回全国有床診療所連絡協議会総会[7月19日(土)～20日(日)・岐阜市]について(伊藤常任理事)

岐阜県医師会・小林会長が大会長となり「有床診療所と地域包括ケア体制～在宅医療に貢献する有床診療所～」をメインテーマに開催された。第1日目は総会に引き続き、日医・横倉会長の特別講演と「今後の有床診療所の展望～成り立つための具体的方策～」と題したパネルディスカッションがあり、第2日目は横浜中央病院・大道院長の基調講演ならびにメインテーマをもとに4名によるシンポジウムが行われた。参加者は約370名であった。

今回は、平成27年7月25日～26日、水戸市において「今後の有床診療所のあり方～複数医師による有床診療所の運用の仕方～」をメインテーマに開催される。

8. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道学校保健審議会[7月10日(木)]について(藤原副会長)

会長に当会・長瀬会長、副会長に江差町教育委員会・新木教育長を選出した。その後、学校保健および学校安全ならびに学校給食文部科学大臣表彰について、推薦のあった学校保健表彰6名・学校給食表彰1名全員を推薦することで了承した。また、食物アレルギー分科会を設置し、8月下旬を目途に指針を作成することとした。

(2) 北海道学校保健審議会第1回食物アレルギー分科会[7月10日(木)]について(藤原副会長)

分科会長に北海道北広島西高等学校・後藤学校長を選出した。その後、指針を作成するに当たり骨子が示され、第2回分科会において指針素案について協議することとした。

(3) 第1回学校における食物アレルギーに対応する連絡協議会[7月10日(木)]について(藤原副会長)

会長に北海道北広島西高等学校・後藤学校長、副会長に小樽市学校給食新光共同調理場・山廣調理場長を選出した。その後、学校におけるアレルギー疾患への対応および道教委の取り組みについて説明があり、意見交換が行われた。

(4) 道東ドクターヘリ運航調整委員会[7月10日(木)]について(目黒常任理事)

役員の変更について承認された後、平成25年度運航実績の報告が行われた。その後、航空法施行規則第176条の改正に伴う運航要領の改正について協議し、了承した。

(5) 北海道航空医療ネットワーク研究会役員会・総会[7月12日(土)]について(目黒常任理事)

役員改選を協議した後、小職より新たな北海道地域医療再生計画の一つとして平成23～25年度の3カ年実施した研究運航の結果を報告した。続いて、事務局より平成25年度収支決算報告および監査報告を行った後、26年度活動計画・予算について協議し、了承した。本年度は、本格運航に向けて関係省庁等に要請活動を行うほか、搬送症例の事後検証やデータ収集・分析を行うこととした。

(6) 北海道障がい者施策推進審議会[7月15日(火)]について(藤原副会長)

会長に小職が選出され、その後、第3期北海道障がい福祉計画の進捗状況および障がい福祉計画策定に関する国の指針の主な改正内容等の報告があった。引き続き、第4期北海道障がい福祉計画の基本方針(案)ならびに部会設置について協議を行い了承した。

(7) 道央ドクターヘリ運航調整委員会[7月17日(木)]について(目黒常任理事)

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学・成

松教授が引き続き選出された後、平成25年度運航実績の報告が行われた。その後、航空法施行規則第176条の改正に伴う運航要領の改正および北海道ドクターヘリ連携会議に高速道路部会を設置することについて協議し、了承した。なお、本年度の重点課題として、①消防用無線のデジタル化への対応、②医療情報データの集積および分析、③道南ドクターヘリとの連携体制の構築があげられた。

(8) 北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会[7月17日(木)]について(林常任理事)

委員長に北星学園大学社会福祉学部・杉岡教授、副委員長に特定非営利活動法人HP T・岡田統括部長を選出し、引き続き専門部会の構成員および部会長が選出された。その後、介護保険制度の改正や報告書「北海道型の地域包括ケア推進に向けて」の改訂(案)について報告があった。

(9) 北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会地域包括ケア部会[7月17日(木)]について(林常任理事)

報告書「北海道型の地域包括ケア推進に向けて」の素案について協議を行った。

9. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「経済財政運営と改革の基本方針2014について」

6月24日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2014」(いわゆる骨太の方針)、「日本再興戦略」改訂2014(成長戦略改訂版)および「規制改革実施計画」の概要について説明した。保険局関係では、医療・介護を中心に自然増を含めた聖域のない見直しを行い徹底的に効率化・適正化すること、平成27年の医療保険制度改正に向けて、地域医療構想と統合的な医療費の水準や医療の提供に関する目標を設置し、取り組みが加速されるよう医療費適正化計画を見直すこと、新たな保険外併用の仕組みの創設等が明記されている。

道総医協関連事項(深澤副会長)

1. 第2回地域医療専門委員会[7月14日(月)]について(小熊副会長)

道庁より、「新たな財政支援制度」にかかる対応について説明があった。その後、同制度(いわゆる新基金)を活用して実施する事業等について意見交換を行った。

お知らせ 第41回 全道医家囲碁大会開催のご案内(予告)

標記大会を下記のとおり開催いたしますので、多くの会員にご参加いただきたくお知らせいたします。なお、申込み等につきましては、10月1日号、11月1日号の医報本紙内にて改めてご案内申し上げます。

【大会】

日時 平成26年11月16日(日)
・対局 午前9時～午後4時
・懇親会 午後4時～午後5時30分
会場 (札幌市医師会館5階
札幌市中央区大通西19丁目
TEL 011-611-4181)

【お問合せ先】

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会事業第5課内
全道医家囲碁連盟事務局

(担当: 田村・^{すのうち}簾内)

TEL 011-231-1434

FAX 011-231-7272

E-mail: 5ka@m.doui.jp